

サポートブックを活用されるみなさんへ



『サポートブックを作ってみましょう!』

『サポートブック』とは、障害や、特別な支援が必要な子どもが、初めて接する人（例えば、ヘルパーさんやボランティアの人や新しい担任の先生やお医者さんなど）に対して、特性や接し方について知ってもらうための情報を書いておくノートです。

主な内容としては、

- ・名前や連絡先、障害特性など基礎となる情報
- ・要求の仕方、拒否の仕方など、コミュニケーションのとり方
- ・不安や過敏、パニックの対応
- ・子どもの好きな遊び、関わり方や苦手なもの
- ・食事やトイレ、着替えなど、その時に必要な情報

などを記入しておきます。そして、この『サポートブック』をヘルパーの方と外出時や行きつけの店、学童保育や学校の先生などに渡しておきます。本人のことを知ってもらい、活動や関わる時のヒントにしてもらい、地域生活や社会自立の支援に役立てていくものです。



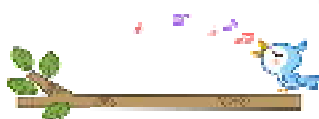
この『サポートブック』は、最初に作成したものを一生涯使用するというものではありません。お子さんの発達や成長に応じて、できるようになったところは書き換えていきましょう。

また人によっては必要な項目は変わってきます。必要な時に、必要な量だけ、相手に伝えておきたいことを書いてみましょう。

そして、実際に使ってみて、見てもらった人の意見を参考に更新していきましょう。実際の記入については、保護者同士で書いてみたり、学校の先生やヘルパーさんと一緒に考えて書くのもいいでしょう。

なお、個人情報に関わる内容も記入するので、取り扱いには慎重に行ってください。

問い合わせ先



社会福祉課 障害福祉係	0743 - 63 - 1001
天理市障害者相談支援センター	0743 - 63 - 1224